

第2回米軍経ヶ岬通信所の設置に係る安全・安心対策連絡会の概要

- 開催日時 平成26年12月8日(月) 1330～1430
- 場 所 京丹後市役所峰山庁舎 205会議室
- 出席者 **【京都府】** 総務調整課長(総務部副部長代理)、丹後広域振興局長
【京都府警察本部】 警備部理事官(警備第一課長代理)
【京丹後警察署】 警備課長(京丹後警察署長代理)
【京丹後市】 副市長
【地域住民代表】 京丹後市区長連絡協議会会長
京丹後市区長連絡協議会幹事
京丹後市防犯委員会会長
京丹後市交通安全指導員会会長
京丹後市女性連絡協議会代表
京丹後市女性連絡協議会副代表
京丹後市袖志区長
京丹後市尾和区長
【米軍経ヶ岬通信所】 経ヶ岬通信所司令官代理
【航空自衛隊経ヶ岬分屯基地】 副隊長(第35警戒隊長代理)
【近畿中部防衛局】 企画部長、管理部長、京丹後現地連絡所長

- 説明事項 I 経緯及び現状
 - 1 本格運用開始までの流れ
 - 2 現状
- II 電波等の安全・安心(環境調査)
 - 1 これまでの環境調査の実施状況
 - 2 今後の調査予定
- III 住民の安全・安心
 - 1 居住地の状況
 - 2 米軍人等の配置状況
 - 3 集団通勤の状況
 - 4 自動車運転教習
 - 5 基地周辺の渋滞緩和策
- IV 雇用・振興策・地元交流
 - 1 地元雇用の状況
 - 2 交流事業の計画
 - 3 生活・産業への影響に対する対策

○出席者の意見等の概要

(1) 騒音対策

【意見要旨】

発電機騒音対策については、発生直後の10月下旬から早期実施を求めてきた。米軍も防衛省も騒音の状況把握に努め、対策を講じているところ、吸音パネルの設置後には、屋内において騒音が軽減されていることが実感できた。しかしながら、屋外では騒音が

聞こえていることから、自然の音に近づくよう、万全な対策が速やかに実施されるよう強く要請する。

【回答要旨（近畿中部防衛局）】

発電機騒音については、日米双方が早急に改善を講じる必要があると認識しており、自然の音に近づくよう、今後も日米が連携して更なる対策を講じていく。

(2) 交通安全対策

【意見要旨】

複数件の交通事故が発生している。安全運転の徹底を求める。

【回答要旨（近畿中部防衛局）】

27年1月には冬季の積雪・凍結といった地元の特性も踏まえた交通安全講習会を実施予定である。引き続き、警察と連携して交通安全講習などに取り組んでいく。

(3) 軍属の居住地

【意見要旨】

軍属の居住地について色々な憶測や噂が流れている。良き隣人として接していきたいと考えており、正確な情報が共有されるよう配慮願いたい。

【回答要旨（近畿中部防衛局）】

軍属の居住地については、現在、京丹後市からの要請期限である平成27年3月末までに決定すべく鋭意取り組んでいるところであるが、米側の所要数を満たすには、賃貸住宅の新規建設が必要な状況である。調整状況については、適切に情報提供していく。

(4) 工事関連

【意見要旨】

休日に工事を行う場合は、今後も地元区長への事前説明を行い、了解の上で実施すること及び景観への配慮を求める。

【回答要旨（近畿中部防衛局）】

経ヶ岬通信所の建設工事は、これまで説明してきたとおり、日曜祝日には行ってこなかったが、天候不順による遅れが生じたため、地元区長等の了解を得て、9月から10月の間の5日間に限定して実施したところである。また、景観については、可能な限り周辺環境に溶け込むよう配慮している。

以 上

第2回安全・安心連絡会要旨

I 経緯及び現状

1. 本格運用開始までの流れ

- (1) 飛行制限区域の設定
 - ・ 11月1日施行（10月2日告示）
- (2) レーダー停波手続（10月31日）に関する通知文書発出
 - ・ 関係機関と訓練を実施 → 迅速に対応
- (3) 立入禁止区域
 - ・ 米軍提供施設内のレーダー前面に立入禁止区域を設定
- (4) 基地内工事
 - ① 据付工事（10月下旬～11月上旬）
 - ② 設備関連工事（8月下旬～11月下旬）
 - ③ 管理棟建設工事（9月中旬～12月下旬）
- (5) 12月末の本格的運用開始までの準備等
12月末日途に予定されている運用開始に必要な準備を実施中

2. 現状

- (1) 基地内工事
 - ・ 現在、管理棟等の建設工事を実施中
- (2) 騒音対策
 - ① 米側による騒音防止のためコンテナの設置（11月5日）
 - ② 専門調査会社等による調査・対応策検討の実施（11月17日～）
 - ③ 米側による吸音パネルの設置（11月19日設置完了）
 - ④ 日本側による防音壁開口部への吸音パネル等の追加設置（12月6日）及び騒音軽減装置の設置（12月予定）
 - ⑤ 米側による消音装置の製作、試験及び設置（27年3月まで）
 - ⑥ 日本側による恒久的な措置として防音ハウスの設置（今年度中に予算措置し契約を行い、来年度早々の着工を追求）

(3) 交通事故

① 現状

連絡会発足後、物損事故が発生

② 今後の対応

- ・米軍に対する更なる注意喚起及び交通安全の徹底
- ・引き続き関係自治体に対する速やかな情報提供

II 電波等の安全・安心（環境調査）

騒音、電磁界強度、水質の3項目については、四季を考慮しつつ、運用開始前後の適切な比較ができるよう調査を実施

1. これまでの環境調査の実施状況

- 騒音調査：平成26年2月、5月及び8月
- 電磁界強度調査：平成26年3月、7月及び10月
- 水質調査：平成26年3月、7月及び10月

2. 今後の調査予定

- 騒音調査：平成27年2月、5月及び8月
- 電磁界強度調査：平成27年1月、4月及び7月
- 水質調査：平成27年3月、7月及び11月

III 住民の安全・安心

1. 居住地の状況

(1) 現在の居住/宿泊地

- ・峰山町： ホテルつかさ峰山、プラザホテル吉翠苑、シティホテル峰山
- ・網野町： ホテル小さな白い花
(軍人は基地内居住施設完成までの間、宿泊)

(2) 今後の軍属居住地

- ・軍属は、当面は市内のホテルに宿泊
- ・市内の既設・新設の賃貸住宅の確保に努力

2. 米軍人等の配置状況

- ・ 11月半ばで、米軍人等の人数約120名
（内軍人約20名、軍属約100名）
- ・ 米軍関係者の視察やレーダー据付け等の短期出張者もあり、当該人数は常に一定ではないが、本格運用開始後は、最大約160名

3. 集団通勤の状況

- ・ 現在、常駐の米軍人等は勤務シフト毎に集団通勤を実施
- ・ 集団通勤は、京丹後市の地理を熟知した地元のバス会社と契約し、シャトルバスを運行

4. 自動車運転教習

- ・ 地域の交通事情等について講義を行い、日本での運転経験の浅い者に対する実車教習を実施
- ・ 冬季運転講習(雪道走行) → 来年1月実施予定

5. 基地周辺の渋滞緩和策

- ・ 基地ゲート前に車両待機場を設置予定

IV 雇用・振興策・地元交流

1. 地元雇用の状況

- ・ 同基地に係る地元雇用について、渉外担当等、従業員6名を雇用

2. 交流事業の計画

- ・ 京丹後市国際交流協会主催の日本文化紹介事業に参加予定（12月21日）
- ・ 袖志・尾和区等の方々と日米地元料理交流事業（案）を計画中（27年3月）

3. 生活・産業への影響に対する対策

(1) 生活・産業対策

- ・ 平成26年度事業（18件）を実施中【再編交付金】
- ・ 尾和用水路事業を実施中（26年度から）【障害防止事業】

(2) 交通環境整備対策

- ・ 浜丹後線、間人大宮線の改良事業を実施中（26年度から）
【民生安定事業】

平成26年10月31日
防 衛 省

経ヶ岬飛行制限区域に係る停波要請手続等について（概要）

レーダー停波手続きについて、関係機関に通知しましたので、その概要をお知らせします。

1 米軍に対する停波要請手順等

停波要請は、短時間で確実に停波を行うとの観点から、現地米軍に直接、電話及びFAXで要請を行う。

(1) 電話による要請

電話にて、所定の連絡先に、必要事項を連絡し停波要請

(2) FAXによる要請

電話連絡後、必要な事項を記載し、現地米軍に速やかに送付

2 航空自衛隊によるバックアップ

停波要請は、原則として、上記1のとおり要請者から直接現地米軍に対し行うことが最も効率的であり、現地米軍もこの手続きに基づき速やかに対応することとしていますが、想定されない何らかの理由で現地米軍と連絡が取れない場合は、バックアップ措置として、航空自衛隊が現地米軍との調整を行う。

3 停波後の米軍に対する連絡

次の場合、停波後又は停波要請後に、米軍にその旨を連絡する。

(1) 当初に要請された時間を超える必要が生じた場合

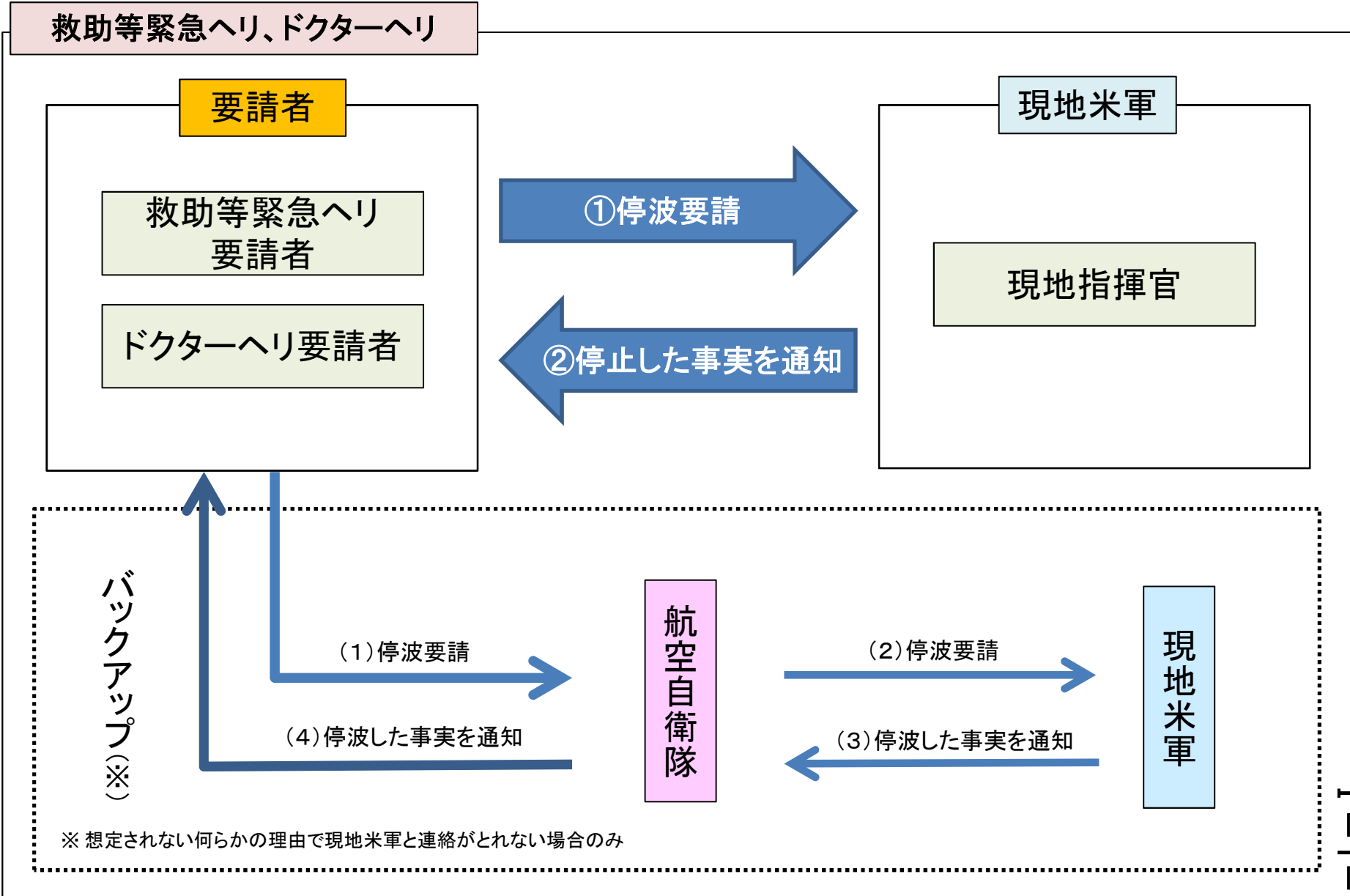
(2) 停波を要請したが、飛行制限区域を飛ぶ必要がなくなった場合

4 その他

本停波手続きについては、確実な実行性を継続的に確保するため、必要に応じて通報訓練の実施及び本手順の見直しを行うこととする。

以 上

自治体等からの停波要請フローチャート



I-1-1-(2)

米軍経ヶ岬通信所 第Ⅰ期工事予定表

工種	5月	6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月		
	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
着工	☆ 27																					
仮囲いほか	■																					
敷地造成		■																				
ユーティリティ (地下埋設部)					■																	
本設フェンス					■																	
コンクリートパッド					■																	
側溝埋設工事					■																	
ユーティリティ (地上部)								■														
野積場								■														
建物工事								■														

本表は、米軍から得た情報を基に近畿中部防衛局が作成したものであり、工事の進捗状況等により今後変更があり得る。

第 I 期の建設工事完了後 (2014年)



※変更となる可能性あり

現在の経ヶ岬通信所の様子（平成26年12月4日（木）付）



